

(注：現時点における情報提供であり、今後変更がありえる)

平成 29 年 2 月
北陸農政局生産振興課

〇〇地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン（案）

記入上の留意事項

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

2 作物ごとの取組方針

（1）主食用米

（2）非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ WCS 用稻

エ 加工用米

オ 備蓄米

（3）麦、大豆、飼料作物

（4）そば、なたね

（5）野菜

（6）不作付地の解消

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成〇〇年度の目標作付面積 (ha)
主食用米			
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稻			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
・			
・			
・			

平成 28 年度の作付面積を記入

平成 30 年度以降（任意）の目標作付面積を記入

新たな振興計画の策定等による 28 年ビジョンからの変更は可能

平成 29 年度の目標値を記入

平成 28 年度の現状値を記入

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)

新たに使途を設定（既存の使途を変更）することにより 28 年ビジョンからの変更は可能

分類ア：維持又は拡大
分類イ、ウ：拡大（改善）

() ()

() ()

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。）

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い產品の产地化を図るために取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度（目標値）」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

产地交付金の活用方法の明細(案)

1. 地域農業再生協議会名

記入上の留意事項
及び記入例

2. 活用予定額の総括表

協議会等名	配分枠 (A+B+C)			(内 訳)			活用予定額 (a+b+c)			
	产地戦略枠 <u>(A=F+H)</u>	従来枠 <u>(B=G+I)</u>	追加配分枠 (C)	1回目の配分 (D=F+G)	2回目の配分 (E=H+I)	产地戦略枠 <u>(F)</u>	従来枠 <u>(G)</u>	従来枠 <u>(H)</u>	従来枠 <u>(I)</u>	追加配分枠 (c)
○○協議会										

(注)2回目の配分、追加配分枠が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

当初配分時は空
欄とする。产地戦略枠から従来枠への流用はできませ
ん。
「A>a」の場合「B<b」は不可

(単位:円)

3. 活用方法

二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合には使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入

(1) —①産地戦略枠分の活用

活用予定額の総括表 (A)

配分粹

当初配分に係る承認申請時においては、
8割配分を前提に単価を設定

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。

「耕畜連携の場合」の場合は、「〇〇〇(ニ毛作)」と記入する。
二毛作の場合は、「二毛作」と記入する。

※※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください。

※4 「分類構図については、実施要綱別紙16の2(5)のアイ、ウのいづれに該当するか記入してください。

アーティストは、其真性を对象とする藝術は「1」、二重作業を設定する藝術は「2」、転写連続で其真性を対象とする藝術は「3」、記入してくださる。エントリーへの申請には、○とエントリー用紙の中西チヨコ、アーティストの申込書類とともに、

合計(基幹)の会計は、各体的会計の会計と並んで、主として設定期に於ける会計である。

所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(1) -②従来枠の活用分

活用予定額の総括表（B）

配分率

※1 「前年度」との比較には、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。

ただし、二毛作及び耕善連携の支援の範囲は任意に設定することができるとのことです。

※※※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合は不要です)。

※1 期別等による、其製作を対象とする便途は「1」、新番連携で其製作を対象とする便途は「3」、新番連携で三毛作を対象とする便途は「4」と記入してください。

※2 初回配分を受けた場合に初めて単価を設定する便途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。

※3 2回目配分を受けた場合に初めて単価を設定する便途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。

「合計(基盤)の実面積」は、基盤作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

〔参考〕所要額欄の二重枠による合計額を記入してください。

(2)追加配分枠の活用分

当初配分に係る承認申請
時に使途を設定

配分枠

		面積 (a単位)																									
		戦略作物																									
前年度との比較※1	整理番号	取組の種類※2	使途※3	麦		大豆		飼料作物		米粉用米		飼料用米		WCS用稻	加工用米	そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雜穀	地力増進	景觀形成	備蓄米	その他	合計⑧※8	所要額⑦×⑧(円)※9
				麦		大豆		飼料作物		米粉用米		飼料用米															
合計(基幹)※7																											
合計(ニ毛作)※7																											
合計(ニ毛作)※7																											
合計(基幹)※1																											
合計(ニ毛作)※1																											
実面積※2																											
実面積※2																											

※1 「前年度」との比較」は、新規の場合は「新規」、既存の場合は「既存」と同じ認定の場合は「同」を記入してください。

※2 「取組の種類」には、いずれの取組等に係る追加配分枠を充てるのか、以下の中から選択してください。

「ア」多収品種の導入への取組、「イ」加工用米契約の取組、「ウ」備蓄米の取組、「エ」そば、なたね(基幹作)の作付け「オ」主食用米生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して、当該生産数量目標の面積換算値より下回った面積に応じた配分

※3 二毛作及び耕畜連携に対する使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、「耕畜連携でニ毛作も対象とする場合は、他の設定と分けで記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・ニ毛作)」と記入してください。

※4 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合は不要です)。

※5 「作期等」は、基幹性を対象とする使途は「1」、ニ毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携でニ毛作を対象とする使途は「3」、耕畜連携でニ毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※6 「合計(基幹)」は、各使途の合計面積を記入し、「合計(ニ毛作)の実面積」は、ニ毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

※7 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(3)水田における交付対象面積計 (a単位)

		戦略作物																																			
		麦		大豆		飼料作物		米粉用米		飼料用米		WCS用稻		加工用米		そば		なたね		野菜		花き・花木		果樹		雜穀		地力増進		景觀形成		備蓄米		その他		合計	
合計(基幹)※1																																					
合計(ニ毛作)※1																																					
実面積※2																																					
実面積※2																																					

※1 「合計(基幹)」は、基幹性を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(ニ毛作)」は、ニ毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

※2 2回目の配分及び追加配分が未定の段階にあっては、1回目配分での設定の実面積を記入してください。

4. 2回目の配分を受けた場合の調整方法

(記入例)
整理番号○→○→○の順に調整を行う。
単価の上限は各個票に記載のとおりとする。

個票の記入例

整理番号○	【単価】 1回目 8,000円／10a 2回目 8,000円／10a	【参考となる単価】 10,000円／10a
【備考】 単価の上限は10,000円／10aとする。		

↑

(記入例)
○○の取組を推進するため、整理番号○に充てる。単価は○○円／10aを上限に計画面積と配分額に応じて決定する。

5. 主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回った場合の調整方法

(記入例)

○○の取組を推進するため、整理番号○に充てる。単価は○○円／10aを上限に計画面積と配分額に応じて決定する。

6. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

(記入例)
以下の単価調整係数を用いて交付単価を一律減額調整(小数点以下切り捨て)することとする。
「単価調整係数(小数第5位以下切り捨て)=配分額(戦略枠+従来枠+追加配分枠)/(整理番号○～○の所要額)」
ただし、減額調整後の戦略枠の実績額が戦略枠の配分額を下回る場合は、「従来枠+追加配分枠」
のそれの範囲内で単価調整係数を用いた減額調整を行う。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度								
産地	前年度の変更承認後の内容・単価（計画）と比較し記入													
協議会名														
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠	<input type="checkbox"/> 従来枠	<input type="checkbox"/> 追加配分枠	左記、「新規」又は「変更あり」に○が付いた場合は「29年度」と記入										
使途														
対象作物	二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と別に個票を作成し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入													
単価														
内容	参考となる単価※3	前年度又は前々年度の変更承認後の単価（計画）を記入												
具体的要件														
確認方法														
備考														

※1 「活用枠」欄は該当する項目の□に✓（チェック）を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか□に✓（チェック）を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。